

竹富町海洋教育サミット

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生徒（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

学校13校が一堂に会して、初の海洋教育サミットが開催されました。本町では令和元年度より、本町教育委員会をあげて海洋教育に取り組んでいます。船浦中学校は文科省より指定を受けた海洋教育特例校でもあります。各校の特色ある調査・研究に加えて、探究心あふれる活動が発表されました。

12月21日
大原小学校
体育館に於いて9:40-14:30にかけて、竹富町の各小中



本校からは2学年の本原怜さん、尾島栖良さん、上田一穂さん、山之内陽咲さんの4名が代表生徒として本サミットに参加し、本校の活動について発表しました。他校の取組から新たな発見もありました。昼食は、竹富町婦人連合会の手作り弁当をいただき、午後はグループディスカッションで海

洋教育を通して、「わたしたちの身近な海の今と未来」について話合われ、子どもたちの意見交換やディスカッションを進行してくださった各校の先生とのやりとりが日本？世界？の未来に光をあてる時間となりました。竹富町内の13小中学校の発表の様子を視聴できるQRコードを保護者へ配信しています。

12月22日付け新聞記事(2紙)にも掲載されていますので、ご一読・ご覧ください。

★12/15 海洋教育の一環として、北海道の散布(チリップ)小学校とオンラインでの交流がはじまりました。引き続き来年も交流していく予定です。交流状況を学校便りでお伝えしていきます。

12月16日は令和4年度の生徒会役員立ち会い演説会、投票が行われました。

2022年生徒会役員選挙

11月29日の立候補者集会を皮切りに、約20日間の選挙活動に入り、生徒会長候補者2名、副会長候補3名で選挙戦を戦いました。開票当日はまさかの会長選同票となり、20日に改めて再選！再投票の結果、次年度の新役員が決定しました。立候補者、担当の眞謝先生、選挙管理委員の東洋希さん、上田脩太さん並びに生徒たちの選挙への取組は、次年度の船中を盛り立てて行こう!!という気持ちが感じられます。



令和4年度生徒会新役員紹介

会長 山之内 陽咲さん
副会長 上田 一穂さん
書記 尾島 栖良さん
会計 伊谷 和樹さん

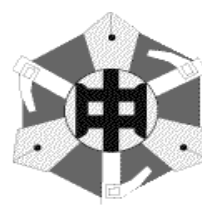
沃野

発行

12月第24号

船浦中学校

校長 宮城裕子



人権教室



12月12日(水)5校時 主題:「差別」について考える人権教室を開催しました。講師に人権擁護委員の池村久美先生をお招きし、「青い目、茶色い目」という動画を視聴して、“なぜ差別は生まれるのか”等についてお互いの考えを話し合いました。

生まれた場所、住んでいる場所、性別、肌の色、病気・障害、思想(考え方)等で、人の中身は変わらない。

人はみんな「平等」・「差別しない」

生徒感想

全然知らない差別があった。動画を見て気づいたのですか、
とりかやりはじめたらみんなやっていたけど、やられている側は
とてもかわいそうと思いました。だから、しっかり人の気持ちを考えて
いきたいです。
もしかしたら、無意識でいやな気持ちにさせてしまっているかも
しれないので、しっかり考えようと思いました。今日はありがとうございました。

差別を、なぜには「人」が「正しい知識を得る」、
相手と自分のこのように考える、思いやりが「い」か
うか、誰かに「幸せ」に思われると思えます。
これから、高校に進学する共に、沢山の「人」に
出会うと思うので、広い心で相手と誰にも関わってほしい
と思いました。

令和3年度二学期終業式 式辞

船浦中学校のみなさん、こんにちは!!明日はクリスマス、2021年の年の瀬をまもなく迎えようとしています。本日二学期の終業式にあたり、8月24日の始業式から今日の終業式まで85日の学校生活を振り返りたいと思います。1学年は2学期の始まりは8月25日から27日迄の間、地域の各事業所で職場体験学習を実施し、たくさんの方にお世話になりましたね。3日間と短い期間ではありましたが、学校を離れ、各職場の一員として貴重な体験をすることができました。色々なところから「中学生は頼りになる」「即戦力」などのお褒めの言葉をいただいたことが懐かしく思い出されます。体験先での「挨拶・返事・後始末」がその後の学校生活でも活かされているでしょうか?…一学期の終わりに「昨年から私たちの生活を脅かしているコロナ禍がまだまだ続いています。」というお話をしました。まさしく、その直後にまたしてもコロナ禍第5波がやってきてしまいました。残念ながら2学年は、楽しみにしていた修学旅行が延期となり、続いて皆さんの活躍の場である体育祭が中止になりました。しかし、どうでしょう。船中は「新しい生活様式」に適応しながら、「今できること」に挑戦してきました。ランチタイムでは「黙食」を今でも実践しています。体育祭とはなりませんでした。が、「スポーツフェスティバル」と銘打って、体育の授業を中心にした取組を披露し、見事大盛況に終えることができました。クラス全員で取り組んだダンスは創意工夫を重ね各学年のカラーを発揮し、ハツラツとした素敵な皆さんの姿は、保護者を含め観戦者に大きな喜びを与えてくれました。皆さんの日々の成長を頼もしく思います。そして、本年度の三行大事「西表島横断」では船中生徒の本領を発揮してくれました。全員踏破とはなりませんでした。が、あの長く険しい西表の大自然を楽しみつつ、励まし合い、半日かけて横断できたことは皆さんの宝となることでしょう。コロナ禍から解放されたとは言えない状況の中で、様々な体験活動や学校生活を送れていることに本当に感謝の気持ちで一杯です。12月に入り、すでに先行開催されている中体連新人大会では1,2年生の新チームが躍進的な活躍を見せています。1月の野球大会も大いに期待できそうです。そして、いよいよ受験シーズンを迎えようとしている3年生の先輩たち!!皆さんが歩んできた中学校生活は終盤を迎えようとしています。これまでの学校生活で、卒業していった先輩方に倣い、追いつけ追い越せとばかり、学校の中での存在感、自分たちが後輩に手本を示すことを実践しています。本当に頼もしい3学年です。さて、令和3年度のスタートから繰り返し皆さんにお伝えしていることが2つあります。船中には素晴らしい教育目標があります。その目標の実現にあたり、1つめは「挨拶・返事・後始末」です。人のかかわりで大切な挨拶がしっかりできるようになってきましたが、後始末に課題が感じられます。「後始末」が意味することはどういうことでしょうか。船中ではただ単に物の「片づけ」だけではありません。粘り強さや簡単にあきらめない、最後までやりきることが大切です。小さな事でも気づき・考え・行動そしてやりきることを心がけましょう。2つめは「考える力・つなぐ力・挑戦する力」をますます身に付けていくことです。船中では実に特色のある様々な体験的活動ができます。ブラックポットの制作、委託販売ができる中学生、海洋教育に取り組みSDG'sを意識した活動ができる船中生を誇りに思います。そして皆さんを支援して下さる先生方にも感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。最後に終業式を全校生徒で迎えることができなかったことを寂しく思います。3学期は推薦入試が始まります。修学旅行もあります。年明け早々あわてることがないように万全に準備しておいてください。SNSとの付き合い方、休み中の学習時間確保、年末年始のお手伝い等冬休みの過ごし方を考えて行動すること、体調管理には十分気をつけて、生活リズムをしっかり整え、健康的な毎日を送れるようにしてください。新年にまた皆さんの笑顔に会えることを願うとともに、安心・安全な毎日でありますように!メリークリスマス&Happy New Year!

令和3年12月24日

竹富町立船浦中学校 校長 宮城 裕子

地域の皆様、保護者の皆様、12月22日に上原多目的集会場で行われた上原地区学力向上推進委員会実践報告会へのご参加ありがとうございました。これからも学校教育が地域一体となった取組となりますこと、本校の伝統と文化の継承・発展に船中職員一同最善を尽くして参ります。よろしくお願いします。

お礼

